

令和元年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

今後のオペレーション事業の成長戦略について

当社は、今般、映像コンテンツ並びにブロックチェーン技術を活用し、オペレーション事業のさらなる活性化に取り組んでいくことといたしましたので、ご報告させていただきます。

現在、当社グループのオペレーション事業といたしまして、岐阜県土岐市にボウリング場を 40 年以上保有運営し、兵庫県加古川市でホテル運営、愛媛大学医学部附属大学病院の給食事業運営、都内に 2 店舗のインターネットカフェ（自遊空間）を運営しております。また、当社子会社である株式会社ケンテンにおきまして、都内を中心に婦人服、子供服の販売を行っております。

今般、当社は、当社大株主のアートポートインベスト株式会社の関連会社であります ART PORT ASIA LIMITED（香港法人、以下、アートポートアジアといいます。）が著作権を持つ映像コンテンツ（映画、ドラマ他）の一部から、100 タイトルの販売権（番組、配信権）及びリメイク権について、同社より、日本国内での窓口に関する業務を受託いたしました。今回のアートポートアジアの映像コンテンツ 100 タイトルに関する日本での窓口業務は、単なる 1 つの事業と捉えてはならず、エンターテインメントとしてのコンテンツの活用性は当社の今後の各オペレーション事業へのシナジー、特に、娯楽施設であるボウリング場、インターネットカフェなどには非常に効果的と考えております。

更に、子会社 MBK ブロックチェーン株式会社を中心に取り組んでおりますブロックチェーン技術は、当社が投資事業として積極的に取り組む不動産、フィンテックや医療といった分野ばかりでなく、お客様へのサービス提供やマーケティング情報の活用など、当社の取り組むオペレーション事業にも変革をもたらすものであり、ブロックチェーン技術を活用した、オペレーション事業のさらなる活性化にも取り組んでまいります。

なお、上記の成長戦略により、中長期的に、当社オペレーション事業の業績に寄与するものと考えておりますが、現段階におきまして、当面の業績に与える影響は軽微であると考えており、業績に重要な影響を与える事象が生じましたら、改めてご報告させていただきます。

以 上